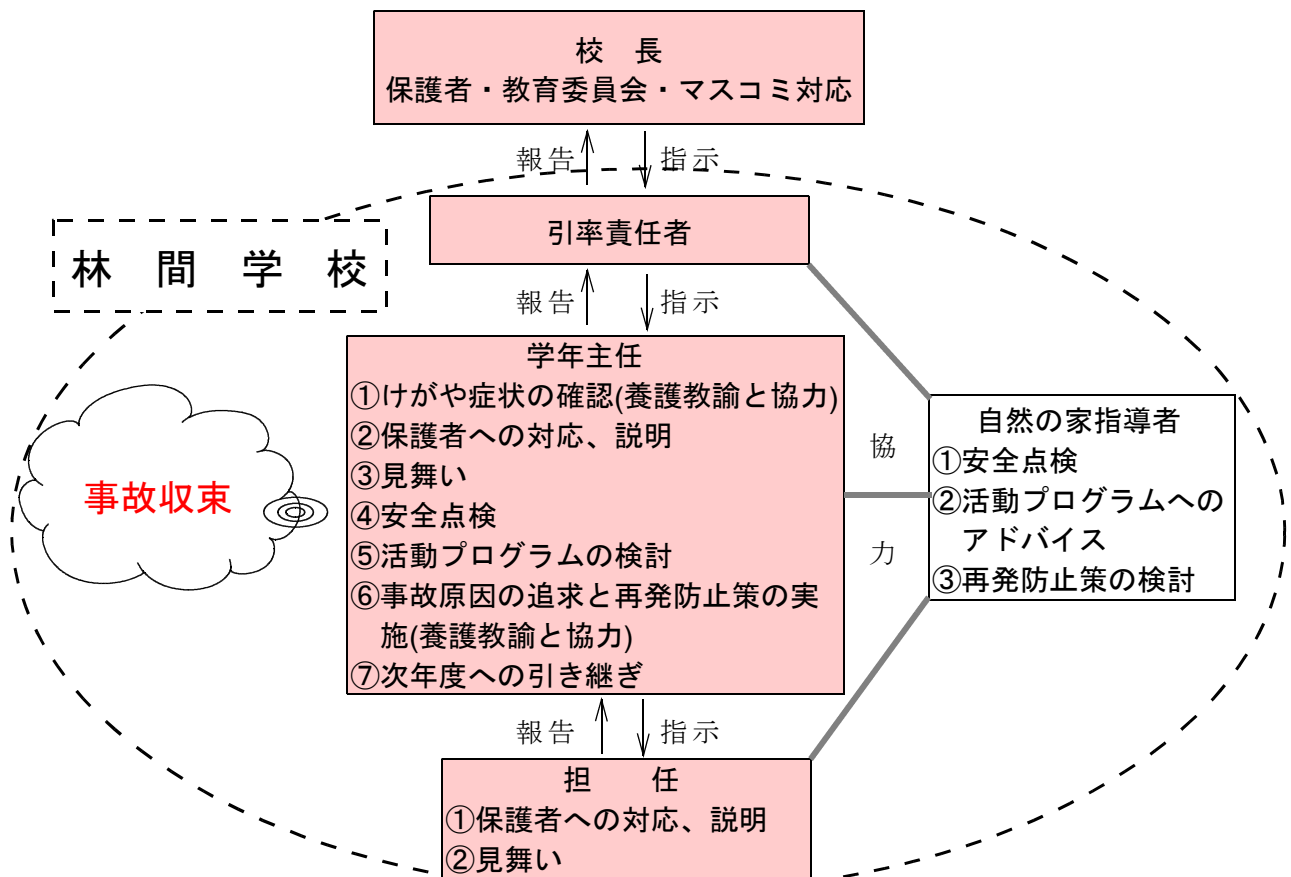
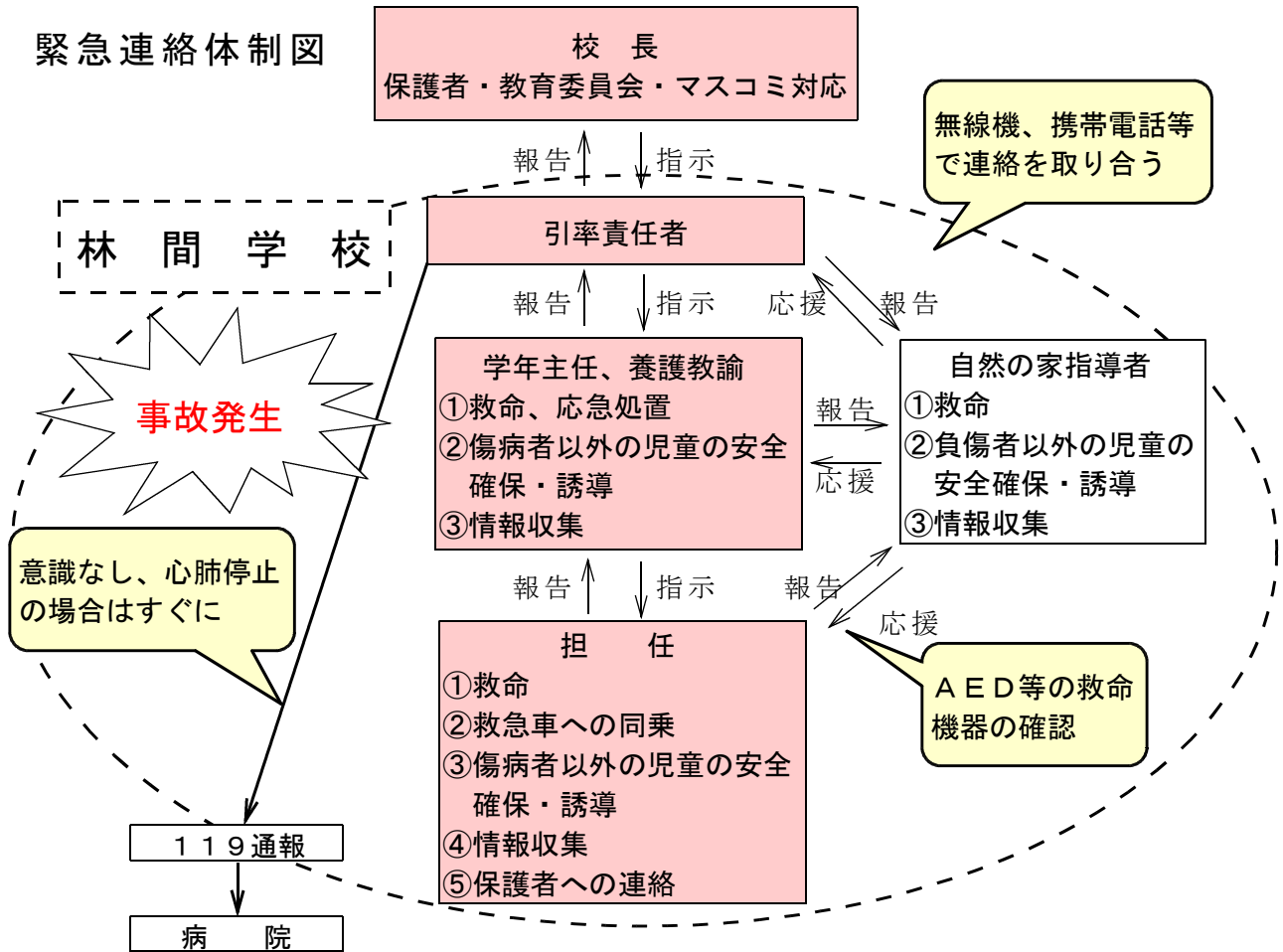


林間学校 安全対策マニュアル

緊急連絡体制図



リスク	未発生時の対策 (自然の家との連携)	発生時の対策	収束時の対策
イノシシ等生き物遭遇時の事故	<p>1 自然の家との連携</p> <p>事前相談時、到着時の受付、オリエンテーション、つどいのお知らせ等で最新情報を入手する。</p> <p>(1) イノシシ等の情報入手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出沒の一般的な情報 ・ イノシシよけ対策の情報 ・ 施設近くの出沒時の情報 <p>(2) イノシシ等の対策における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設外活動時の単独行の禁止 ・ 施設外活動時のグループ行動 ・ イノシシ発見時の指導対策 ・ 登山、ハイキング時における食べ物、ジュース等の空き缶の後始末の徹底 ・ 野外炊飯時の生ゴミの完全処理 ・ 野外でのおやつ、食材等の処理 <p>(3) 業務無線の借用と緊急連絡体制の確認</p>	<p>1 イノシシ発見時</p> <p>(1) 連絡体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師間の連絡体制 ・ 自然の家の職員への連絡 ・ 自然の家からの情報入手 <p>(2) 児童への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発見場所により活動の停止 ・ 避難の誘導 <p>(3) 点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集とともに、敷地内の場合、自然の家の職員とともに、音を出してイノシシを山に追い出す作業をする。 ・ 警察や自然の家の職員との連携により安全点検をする。 <p>2 イノシシ等による事故発生時</p> <p>(1) 連絡体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師間の緊急連絡(無線・携帯電話等) ・ 自然の家の職員への連絡 ・ 自然の家からの情報入手 ・ 学校(管理職)、保護者への連絡 <p>(2) 児童への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発見場所により活動の停止 ・ 避難の誘導 <p>(3) 救助体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の家の職員を事故発生場所へ誘導する。 ・ 自然の家の職員とともに救急車、医療機関、警察等と連携しながら被害者を救出する。 <p>(4) 情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の家の職員とともに、事故発生時の情報を収集する。 <p>(5) マスコミへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引率責任者は、自然の家の職員と連携しながら学校(管理職)へ随時報告する。 ・ 管理職は、情報を一元化し、マスコミ対応に備える。 ・ 被害者等のプライバシーが確保できるように配慮する。 	<p>1 イノシシ発見後</p> <p>(1) 安全が確認された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の家の職員とともに点検が終了次第、自然の家の職員から必要な情報を入手し、野外活動プログラムについて検討する。 <p>(2) 安全が確認されない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の家の職員とともに点検しても安全が確認されない場合、野外活動中止等の指導を受け、活動プログラムについて検討する。 <p>2 イノシシ等による事故発生後</p> <p>(1) 被害者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ けがの確認 ・ 保護者への対応、説明 ・ 見舞い <p>(2) マスコミへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引率責任者は、自然の家の職員と連携しながら学校(管理職)へ随時報告する。 ・ 管理職は、情報を一元化し、マスコミ対応に備える。 ・ 被害者等のプライバシーが確保できるように配慮する。 <p>(3) 自然の家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の家の職員等による点検が終了及び安全が確保されるまで野外活動を中止し、野外活動プログラムについて検討する。 ・ 安全確認後のプログラム再開 <p>3 再発防止策の検討、実施、事故原因の追求と再発防止策の実施、次年度への引き継ぎ</p>

リスク	未発生時の対策 (自然の家との連携)	発生時の対策	収束時の対策
毒ヘビによる事故 (マムシ・ヤマカガシ)	<p>1 自然の家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前相談時、到着時の受付、オリエンテーション、つどいのお知らせ等で最新情報を入手する。 <p>2 児童への事前指導</p> <p>森や林の中に入って活動する際は、次のことに注意させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘビを見たら不用意に近づかないこと 長袖長ズボンによる活動 長靴の使用 	<p>1 事故発生時</p> <p>(1) 連絡体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の家への緊急連絡(無線・携帯電話等) 消防署(救急車)、病院への連絡 学校(管理職)、保護者への連絡 <p>(2) 救助体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故発生場所への自然の家の職員の派遣依頼、救助 	<p>1 事故発生後</p> <p>(1) 被害者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 症状の確認 見舞い 保護者への対応、説明 <p>(2) 自然の家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の家の職員等による点検が終了及び安全が確保されるまで野外活動を中止し、野外活動プログラムについて検討する。 安全確認後のプログラム再開 <p>(3) 自然の家の職員及び専門家による駆除</p>

リスク	未発生時の対策 (自然の家との連携)	発生時の対策	収束時の対策
登山道やハイキングコースでの落石事故・滑落事故	<p>1 自然の家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動場所の事前調査 落石や滑落が予想される場所の情報収集 業務無線の借用と緊急連絡体制の告知 <p>2 児童への事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 落石や滑落が予想される場所を具体的に地図等で指導する。 	<p>1 落石事故、滑落事故発生時</p> <p>(1) 連絡体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の家への緊急連絡(無線・携帯電話等) 自然の家と連携し、消防署(救急車)、警察、市役所、病院等への連絡 学校(管理職)、保護者への連絡 <p>(2) 児童への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の中止と安全な場所への誘導 <p>(3) 救助体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故発生場所への自然の家の職員の派遣依頼 自然の家、救急車、医療機関、警察等との連携による被害者の救出 <p>(4) 情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故発生時の情報収集 <p>(5) マスコミへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 引率責任者は、自然の家の職員と連携しながら学校(管理職)へ随時報告する。 管理職は、情報を一元化し、マスコミ対応に備える。 被害者等のプライバシーが確保できるように配慮する。 	<p>1 事故発生後</p> <p>(1) 被害者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> けがの確認 見舞い 保護者への対応、説明 <p>(2) マスコミへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 引率責任者は、自然の家の職員と連携しながら学校(管理職)へ随時報告する。 管理職は、情報を一元化し、マスコミ対応に備える。 被害者等のプライバシーが確保できるように配慮する。 <p>(3) 自然の家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の家の職員等による点検が終了及び安全が確保されるまで野外活動を中止し、野外活動プログラムについて検討する。 安全確認後のプログラム再開 <p>2 再発防止策の検討、実施、事故原因の追求と再発防止策の実施、次年度への引き継ぎ</p>

リスク	未発生時の対策 (自然の家との連携)	発生時の対策	収束時の対策
ハチによる事故 スズメバチ等	<p>1 自然の家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前相談時、到着時の受付、オリエンテーション、つどいのお知らせ等で最新情報を入手する。 <p>2 児童への事前指導</p> <p>森や林の中に入って活動する際は、次のことに注意させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハチが近づいてきたら、急な動きをしないで、飛んでいる高さよりも身を低くしてゆっくりと静かにその場から遠ざかる。大きな声を出したり、振りはらったりしない。 ・香りのするものはハチが寄ってくるので、虫よけスプレーは無臭の物にする。 	<p>1 事故発生時</p> <p>(1) 連絡体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家への緊急連絡（無線・携帯電話等） ・消防署（救急車）、病院への連絡 ・学校（管理職）、保護者への連絡 <p>(2) 救助体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生場所への自然の家の職員の派遣依頼、救助 	<p>1 事故発生後</p> <p>(1) 被害者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症状の確認 ・見舞い ・保護者への対応、説明 <p>(2) 自然の家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家の職員等による点検が終了及び安全が確保されるまで野外活動を中止し、野外活動プログラムについて検討する。 ・安全確認後のプログラム再開 <p>(3) 自然の家の職員及び専門家による駆除</p>

リスク	未発生時の対策 (自然の家との連携)	発生時の対策	収束時の対策
危険な植物による事故 ヤマウルシ等	<p>1 自然の家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前相談時、到着時の受付、オリエンテーション、つどいのお知らせ等で最新情報を入手する。 ・自然の家の職員からウルシ、毒キノコ等の見分け方や応急処置の方法等の指導を受ける。 <p>2 児童への事前指導</p> <p>森、林の中に入って活動する際は、次のことに注意させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウルシや種類の解らないキノコ等は触らない。 	<p>1 事故発生時</p> <p>(1) 連絡体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家への緊急連絡（無線・携帯電話等） ・学校（管理職）、保護者への連絡 	<p>1 事故発生後</p> <p>(1) 被害者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症状の確認 ・見舞い ・保護者への対応、説明 <p>(2) 自然の家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家の職員等による点検が終了及び安全が確保されるまで野外活動を中止し、野外活動プログラムについて検討する。 ・安全確認後のプログラム再開 <p>(3) 自然の家の職員及び専門家による除去</p>

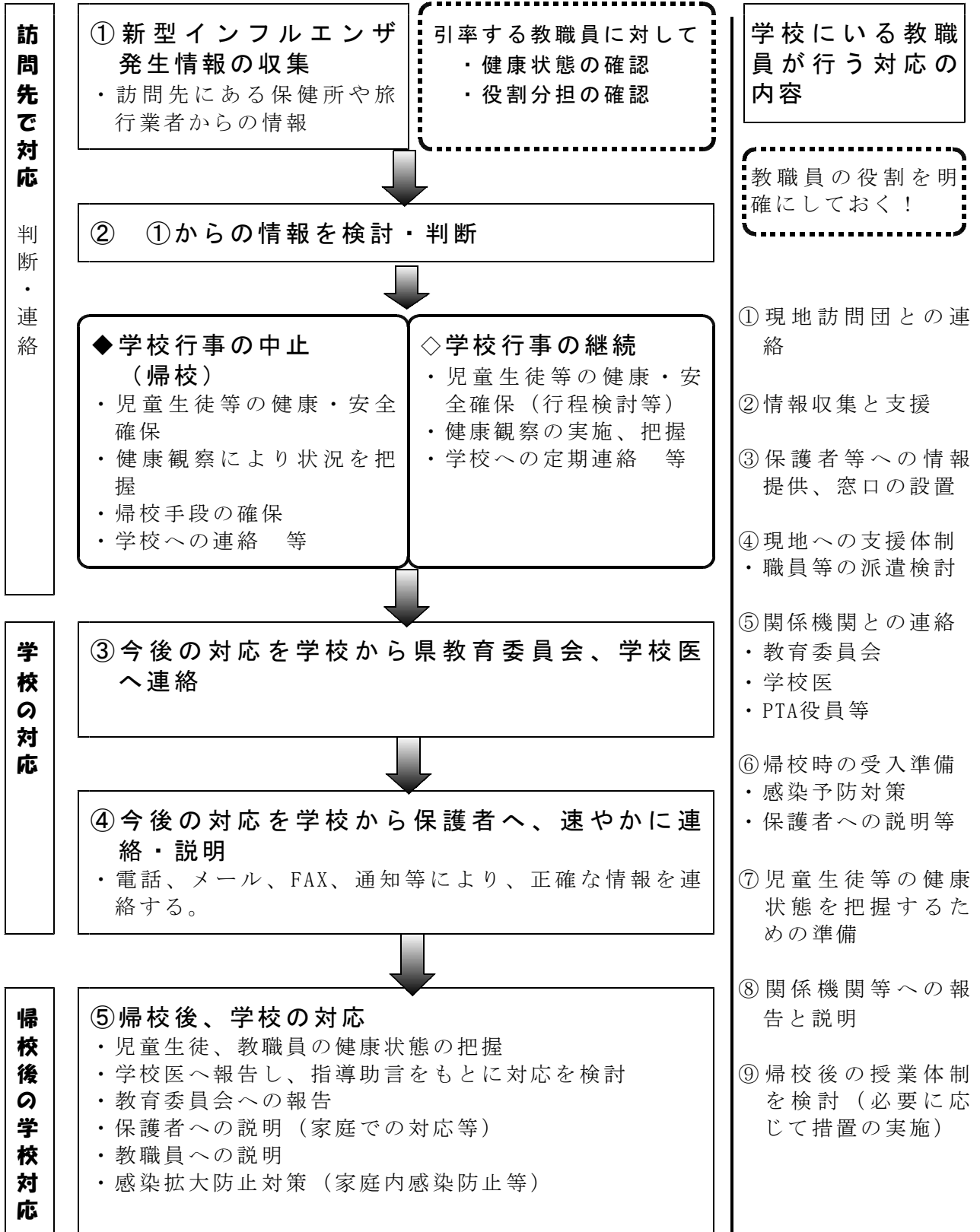
リスク	未発生時の対策 (自然の家との連携)	発生時の対策	収束時の対策
けがや病気や遭難	<p>1 自然の家との連携</p> <p>(1) 無理のないゆとりをもった活動計画の作成の指導を受ける。</p> <p>(2) 当日の相談をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報等を確認し無理のない活動にする。 <p>2 学校での準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急薬品を携帯できるようにする。 <p>3 児童への事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち枯れした木には近づかない。 ・危険箇所のロープはくぐらない。 ・活動案内看板を確認して行動する。 	<p>1 事故発生時</p> <p>(1) 連絡体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家への緊急連絡（無線・携帯電話等） ・消防署（救急車）、病院への連絡 ・学校（管理職）、保護者への連絡 <p>(2) 自然の家からの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動中止 <p>(3) 自然の家の職員と協力した救助体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生現場への自然の家の職員の派遣依頼 ・行方不明者の搜索 ・救急車、医療機関、警察等との連携による被害者の救出 <p>(4) 情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時の情報収集 <p>(5) マスコミへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率責任者は、自然の家の職員と連携しながら学校（管理職）へ随時報告する。 ・管理職は、情報を一元化し、マスコミ対応に備える。 ・被害者等のプライバシーが確保できるように配慮する。 	<p>1 事故発生時</p> <p>(1) 被害者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがや症状の確認 ・見舞い ・保護者への対応、説明 <p>(2) マスコミへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率責任者は、自然の家の職員と連携しながら学校（管理職）へ随時報告する。 ・管理職は、情報を一元化し、マスコミ対応に備える。 ・被害者等のプライバシーが確保できるように配慮する。 <p>(3) 自然の家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家の職員等による点検が終了及び安全が確保されるまで野外活動を中止し、野外活動プログラムについて検討する。 ・安全確認後のプログラム再開 <p>2 再発防止策の検討、実施、事故原因の追求と再発防止策の実施、次年度への引き継ぎ</p>

リスク	未発生時の対策 (自然の家との連携)	発生時の対策	収束時の対策
食中毒	<p>1 児童への指導</p> <p>(1) 野外炊事時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手を洗う ・食器の洗浄 ・食材の管理 <p>生もの等は直前まで冷蔵庫保管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理方法(十分熱を通す)の指導 ・食材の持ち込みの禁止 <p>(2) 食堂利用時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いの励行 	<p>1 食中毒発生時</p> <p>(1) 連絡体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家への緊急連絡 ・消防署(救急車)、病院、保健所への連絡 ・学校(管理職)、保護者への連絡 <p>(2) 自然の家からの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動中止 <p>(3) 原因の究明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所、医療機関との連携による原因の究明 <p>(4) 情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時の情報収集 <p>(5) マスコミへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率責任者は、自然の家の職員と連携しながら学校(管理職)へ随時報告する。 ・管理職は、情報を一元化し、マスコミ対応に備える。 ・被害者等のプライバシーが確保できるように配慮する。 	<p>1 食中毒発生後</p> <p>(1) 被害者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症状の確認 ・見舞い ・保護者への対応、説明 <p>(2) マスコミへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引率責任者は、自然の家の職員と連携しながら学校(管理職)へ随時報告する。 ・管理職は、情報を一元化し、マスコミ対応に備える。 ・被害者等のプライバシーが確保できるように配慮する。 <p>(3) 自然の家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の家の職員等による点検が終了及び安全が確保されるまで活動を中止し、活動プログラムについて検討する。 <p>2 再発防止策の検討、実施、事故原因の追求と再発防止策の実施、次年度への引き継ぎ</p>

○ そのほか、不審者の侵入や火災や地震に対するリスクも考えられるが、学校での活動に準じて実施する。

訪問先が新型インフルエンザ集団発生の状況にあるときの対応例<1>

(新型耐性菌)



参加者が新型インフルエンザ感染の疑いとなったときの対応例<2>

